

# 兵庫県播磨地域の古墳の現在

古谷 彰梧

**キーワード：**古墳, 兵庫県播磨地域, 探訪, フィールドワーク, 中学校社会科

## 1. はじめに

本研究の目的は、古墳とは何か十分に理解したうえで、兵庫県播磨地域の古墳に焦点を絞り実際に探査することである。それらに基づいて、古墳を中心とした中学校社会科の教材を構成する。

研究方法は、おもに文献調査とフィールドワークの二つである。文献調査ではまず、古墳に関する膨大な基礎文献の中から、古墳とは何か理解するために最も役立つ本をいくつか選抜することから始める。また、古墳の調査報告書から古墳の所在と歴史的背景を掌握し、各々の古墳の特徴や分布を考察する。フィールドワークでは実際に、兵庫県播磨地域の古墳をめぐり、古墳の形状、石室の構造、その歴史的背景や所在の理由を調査する。

以下、「2. 日本の古墳の特性」では、日本の古墳の全体像をまとめる。「3. 兵庫県播磨地域の古墳」では、兵庫県播磨地域の古墳を調査し、河川流域別に歴史的、地理的視点から考察する。また、現在の古墳の利用方法、古墳の現状についても調査、考察する。「4. 古墳を中心とした教材開発」では、古墳を教材化する。

## 2. 日本の古墳の特性

古墳といえば、大阪府堺市にある仁徳天皇陵とされている大仙古墳（写真1）であるが、この古墳が有名なのはその巨大さが理由となるところである。古墳の大きさはそこに葬送される者の権威の大きさを示し、また、時期によって様々な形状に変化するのである。さらに、古墳は単なる遺骸処理の場ではなく、残された人々にとっての何らかの心情に訴える性格を備えたものであると私は考える。そこでは人々の心情に基づく葬送儀礼が行われる。儀礼が実施された場とその内容の変化を精査することで、当時の人々の心情や社会、政治のあり様を知ることができるのである。



**写真1** 大仙古墳上空写真（大阪府堺市）

出所：グーグルアースからスクリーンショットにより作成

日本では3世紀中頃から7世紀末にかけて、奈良・大阪や岡山・群馬など各地で多くの古墳が築造された。また、全長が100メートルを超えるほどの巨大古墳が数多く存在する。日本の巨大古墳の上位30を表1に示す。

表1 日本の古墳, 全長上位30

順位	古墳名	所在地	時期	墳長 (m)	墳形
1	大仙古墳	大阪府堺市堺区大仙町	中期	486	前方後円墳
2	誉田御廟山古墳	大阪府羽曳野市誉田6丁目	中期	425	前方後円墳
3	石津丘古墳	大阪府堺市西区石津ヶ丘	中期	365	前方後円墳
4	造山古墳	岡山県岡山市北区新庄下	中期	350	前方後円墳
5	河内大塚山古墳	大阪府羽曳野市南恵我之荘8丁目	後期	335	前方後円墳
6	見瀬丸山古墳	奈良県橿原市見瀬町, 五条野町	後期	318	前方後円墳
7	渋谷向山古墳	奈良県天理市渋谷町	前期	302	前方後円墳
8	土師ニサンザイ古墳	大阪府堺市北区百舌鳥町西之町	中期	288	前方後円墳
9	仲ツ山古墳	大阪府藤井寺市沢田4丁目	中期	286	前方後円墳
	作山古墳	岡山県総社市三須	中期	286	前方後円墳
11	箸墓古墳	奈良県桜井市箸中	前期	276	前方後円墳
	五社神古墳	奈良県奈良市山陵町	前期	276	前方後円墳
13	ウツナベ古墳	奈良県奈良市法華寺町字宇和那辺	中期	265	前方後円墳
14	市庭古墳	奈良県奈良市佐紀町	中期	250	前方後円墳
	メスリ山古墳	奈良県桜井市大字高田	前期	250	前方後円墳
16	岡ミサンザイ古墳	大阪府藤井寺市	後期	242	前方後円墳
	行燈山古墳	奈良県天理市	前期	242	前方後円墳
18	室大墓(室宮山)古墳	奈良県御所市	中期	238	前方後円墳
19	西殿塚古墳	奈良県天理市	前期	234	前方後円墳
20	市野山古墳	大阪府藤井寺市国府1丁目	中期	230	前方後円墳
21	宝来山古墳	奈良県奈良市尼辻町	前期	227	前方後円墳
	大田茶臼山古墳	大阪府茨木市	中期	227	前方後円墳
23	古市墓山古墳	大阪府羽曳野市白鳥3丁目	中期	224	前方後円墳
24	ヒシアゲ古墳	奈良県奈良市佐紀町ヒシアゲ	中期	219	前方後円墳
25	佐紀石塚山古墳	奈良県奈良市山陵町御陵前	中期	218	前方後円墳
26	河合大塚山古墳	奈良県北葛城郡河合町西穴關字大塚	中期	215	前方後円墳
27	築山古墳	奈良県大和高田市築山字城山	中期	210	前方後円墳
	西陵古墳	大阪府泉南郡岬町淡輪	中期	210	前方後円墳
	太田天神山古墳	群馬県太田市内ヶ島	中期	210	前方後円墳
30	津堂城山古墳	大阪府藤井寺市津堂	中期	208	前方後円墳

出所：歴史ロマン探検隊「知っておきたい古墳のいろは」ウェブページを参考に作成

### 3. 兵庫県播磨地域の古墳

#### (1) 播磨地域の古墳の特徴

近畿の中でも古墳が集中しているのは、現在の大阪府と奈良県であることから、古墳の広がりを中心は畿内であり、播磨はその勢力の及ぶ範囲の地域であったと考えられる。

さらに詳しく播磨国の位置を考えてみると、大和政権を中心とした場合、播磨国は各地との交通の要衝となることが推測できる。陸上交通、海上交通ともに播磨は、大和政権の西の玄関口と言っても過言ではない。

播磨国の地域性を踏まえたところで、古墳の分布との直接的関連は見えてこない。当時の播磨という地域の代表的集団や社会組織も見当たらないことから、近畿の中で特徴的な播磨の「特徴を見つけることができない」という特徴をもつと私は考えている。

古墳の中古墳,最も古墳らしい古墳といえは前方後円(方)墳である。播磨地域には95基の前方後円(方)墳がある(表2)。古墳時代前期の播磨地域には,古墳を積極的に築く文化があったことが分かる。5世紀の中期になると古墳の数は全体的に減少し,前方後円墳は見られるものの,前方後方墳はなくなる。6世紀の後期には,巨大なものは見られなくなり,ほとんどは小型化している。

表2 兵庫県播磨地域の前方後円(方)墳の時期別規模と基数

古墳時代の区分			140~195m	70~140m	40~70m	0~40m	合計
前期	3世紀~4世紀	前方後円墳	1	9	13	15	38
		前方後方墳	0	1	5	8	14
中期	5世紀	前方後円墳	1	2	4	5	12
後期	6世紀	前方後円墳	0	0	3	28	31
合計			2	12	25	56	95

注) 5世紀と6世紀は前方後円墳のみで,前方後方墳はない。

出所: 岸本(2013, p. 28)より作成

## (2) 北播磨地域の古墳の探訪

表3に兵庫県播磨地域の前方後円(方)墳の全長上位をあげる。

表4と図1には私が実際に探訪した古墳をまとめた。そのうち,写真2の岩倉2号墳は,小野市紅山の中にある古墳で,古墳時代後期6世紀代に造られたものであるとされている。小野市内の古墳の中では最大の横穴式石室をもつ。古墳の規模は全長9.5メートル,石室の規模は,玄室長約5メートル,幅約2.5メートル,高さ約2.8メートルである。入り口にしっかりとした天井石が確認できることから,石室は壊されずに残っている。石室内部に入ることができる。

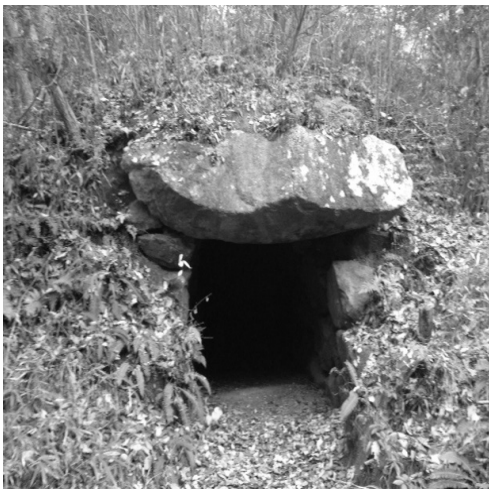


写真2 岩倉2号墳正面(小野市来住町)  
2014年11月30日15:19 本人撮影



図1 兵庫県北播磨地域の古墳探訪マップ

出所: MANDARAで作成した地図に古墳名を入れて作成

**表3** 兵庫県播磨地域の前方後円(方)墳, 全長上位

順位	古墳名	所在地	墳長 (m)	時期 (世紀)	墳形
1	五色塚古墳	神戸市垂水区	194	4	前方後円墳
2	壇上山古墳	姫路市御国町	143	5	前方後円墳
3	玉丘古墳	加西市玉丘町	109	4	前方後円墳
4	丁瓢塚古墳	姫路市勝原区	104	3	前方後円墳
5	行者塚古墳	加古川市山手	99	4	前方後円墳
	興塚古墳	たつの市御津町	99	4	前方後円墳
7	南大塚古墳	加古川市加古川町	90	4	前方後円墳
	北大塚古墳	加古川市神野町	90	4	前方後円墳
	愛宕山古墳	三木市別所町	90	4	前方後円墳
10	褶墓古墳	加古川市加古川町	80	3	前方後円墳
11	小山古墳	加西市北条町	79	5	前方後円墳
12	西大塚古墳	加古川市加古川町	75	4	前方後円墳
13	吉田王塚古墳	神戸市西区	74	5	前方後円墳
14	聖陵山古墳	加古川市野口町	70	3	前方後方墳
15	伊和中山1号墳	宍粟市一宮町	62	4	前方後円墳
16	塚森古墳	相生市那波野	60	6	前方後円墳
17	大避山1号墳	相生市若狭野町	57	3	前方後円墳
	中山13号墳	赤穂郡上郡町西野山	57	3	前方後円墳
19	白水瓢塚古墳	神戸市西区	56	4	前方後円墳
20	勅使塚古墳	加古川市加古川町	55	4	前方後円墳
	権現山50号墳	たつの市御津町	55	3	前方後方墳
22	権現山梶山14号墳	たつの市揖保町	54	5	前方後円墳
23	宮山2号墳	加古川市西神吉町	53	4	前方後円墳
24	岡ノ山古墳	西脇市上比延町	52	3	前方後円墳
	壇特山1号墳	姫路市勝原区	52	3	前方後円墳
	景雲寺山古墳	たつの市揖西町	52	3	前方後円墳
27	兼田丸山古墳	姫路市兼田	48	3	前方後円墳

出所：岸本（2013, p. 29）より作成

**表4** 兵庫県北播磨の古墳探訪

地域	古墳名	所在地	時期	墳形
西脇市	岡ノ山古墳	西脇市上比延町	4世紀	前方後円墳
	寺内古墳群	西脇市寺内町	7世紀	円墳
	下山古墳	西脇市富吉南町	6世紀後半	石室のみ
	頼政塚古墳	西脇市高松町	4世紀後半	円墳
	福谷古墳	西脇市黒田庄町	詳細不明（6世紀頃か）	円墳
	小苗古墳群	西脇市黒田庄町	詳細不明（6世紀頃か）	円墳
	加西市	玉丘古墳	加西市玉丘町	5世紀
三木市	窟屋1号墳	三木市志染町窟屋	6世紀	円墳
	吉田古墳群	三木市志染町吉田	6世紀	円墳
	正法寺古墳群	三木市別所町正法寺	6世紀	円墳
	愛宕山古墳	三木市別所町下石野	4世紀	前方後円墳
	実楽古墳	三木市吉川町実楽	6世紀	円墳
小野市	福甸1号墳	小野市福甸町	6世紀中頃	円墳
	岩倉2号墳	小野市来住町	6世紀	円墳
	王塚古墳	小野市王子町	5世紀中頃	円墳
加東市	下ノ山古墳	加東市下滝野	6世紀	円墳
	松尾古墳	加東市松尾	5世紀	円墳
多可町	東山古墳群	多可町中	6世紀～7世紀	円墳

出所：東播磨流域文化協議会「加古川流域歴史文化遺産マップ」を参考に作成

#### 4. 古墳を中心とした教材開発

教科書や学習指導要領中学社会編解説での古墳の取扱いを調べてみると、ごくわずかしが登場しないが、私はこれではいけないと思う。古墳には重要な教育的意義があり、それは地域性を活かし、現代に生きる人々に歴史を振り返る機会を与えることである。そして古墳に実際に触れたときの興奮にこそ意味があるのである。そこで、古墳に興奮するための中学校社会科第1学年の学習指導案の案を作成した。

(1) 単元名 ヤマト王権と渡来人

(2) 授業名 古墳に興奮～古墳を発見し調査せよ～

(3) 授業目標

- ・地図を使って古墳を積極的に探したり、古墳の様子（墳形、墳長、石室）に関心を持ち、古墳に興奮することができる。（関心・意欲・態度）
- ・地図を読み取ったり、古墳の様子（墳形、墳長、石室）をスケッチと文章で表現できる。（思考・判断・表現）

(4) 準備物

体操服、地図、コンパス、メジャー、ワークシート、筆記用具

(5) 展開

生徒の活動	教師のはたらきかけ	評価の視点
1. 班で集合し、係を確認する。 2. 地図を頼りに、班で古墳を探す。 ・班の仲間と協力して、地図を読む。 ・コンパスで方位を確認する。 3. 発見した古墳に触れる。 ・実際に触れた古墳の感想を仲間に伝え合う。 4. 古墳をスケッチする。 ・ワークシートに従って、墳形、墳長、石室を細かく描く。 5. 古墳に興奮した感想とスケッチして分かったことをまとめる。	・生徒の役割を再確認させる。 ・地図記号、等高線、縮尺の読み方の指導やコンパスの使用方の指導を行う。 ・安全面に配慮する。（交通、害虫等） ・墳形、墳長、石室があることに気づかせるために、古墳に触れるよう声をかける。 ・ワークシートのスケッチの描き方の確認を行う。 ・墳長を測定する際のメジャーの使用に気をつける。 ・古墳に触れたときに感じた正直な興奮を描かせるようにする。 ・実際の古墳と、前時までに膨らませたイメージや既存知識との共通点や相違点を検証させる。	・地図を使って古墳を積極的に探したり、古墳の様子（墳形、墳長、石室）に関心を持つことができる。（関心・意欲・態度） ・古墳の様子（墳形、墳長、石室）をスケッチと文章で表現できる。（思考・判断・表現）

## 5. おわりに

古墳の一番の魅力は直接触れたときの興奮ではないだろうか。古墳を教材として扱ううえでこの興奮は欠かせないのである。この興奮を入りに、古墳に興味を抱き、古墳を考察することにより、現在に至るまでの歴史を知り、そこから、古墳にとどまらず歴史的遺物のもつ不思議や価値、歴史の重要性に気づくことができる、と私は信じている。

地域に存在する現在の古墳は、人々の生活に根付いているものもあれば、過去の遺物とされ長い歴史に置き去りにされたままのものもある。西脇市の岡ノ山古墳は日本のへそ公園の一部としてその輝きを放っている。正法寺古墳群は三木市によってしっかりと整備され、説明文のついた看板なども立てられている。その一方で、実楽古墳や松尾古墳は整備もされておらず、石室内部にはゴミが溜まり草も生い茂っていた。

こういった古墳の現状をつぶさに見て感じたのは、地域の協力の必要性である。古墳の面白さ、興味深さを子供たちに伝えていかなければ、古墳はいずれ取り壊されてしまうだろう。私は古墳の興奮を絶えさせないためにも、古墳の興味深さや魅力について積極的に調べそとして語りたいと思う。

## 参考文献

- 大塚初重 (2012) 『「考古学」最新講義 古墳と被葬者の謎にせまる』 祥伝社, 254p.  
岸本道昭 (2013) 『古墳が語る播磨』 神戸新聞総合出版センター, 290p.  
日本文教出版 (2014) 『中学社会歴史的分野』 日本文教出版, 279p  
東播磨流域文化協議会 「加古川流域歴史文化遺産マップ」

## 参考ウェブページ

- 歴史ロマン探検隊 「知っておきたい古墳のいろは」 2014年12月20日参照  
<http://web1.kcn.jp/sendokohun/kohunkiiso.htm>

# The Present State of Ancient Burial Mounds in the Harima Area, Hyogo Prefecture

FURUTANI Shogo

Key Words: ancient burial mounds, the Harima Area in Hyogo Prefecture, excursion, fieldwork,  
the social studies of Junior high school